



IS YOUR TIME

SAKAMOTO Ryuichi with TAKATANI Shiro
Installation Music 2

坂本龍一 with 高谷史郎 | 設置音楽 2
IS YOUR TIME

2017年12月9日[土]—2018年3月11日[日]

NTT インターコミュニケーション・センター [ICC] ギャラリー A

開館時間：午前11時—午後6時（入館は閉館の30分前まで）*12月10日は午前11時—午後3時（入場は午後2時30分まで）

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日 なお、2/12[月]は休館、2/13[火]は開館）、年末年始（12/28-1/4）、保守点検日（2/11）

入場料：一般・大学生500円（400円）／高校生以下無料 *（ ）内は15名様以上の団体料金

主催：NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]

協力：commons、株式会社キャブ、有限会社ダムタイプオフィス、株式会社イースタンサウンドファクトリー、株式会社シンタックスジャパン、ヤマハ株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社リットーミュージック

Date: December 9, 2017–March 11, 2018 | Venue: NTT InterCommunication Center [ICC] Gallery A

Hours: 11:00am–6:00pm *December 10: 11:00am–3:00pm (Admission until 30 minutes before closing)

Closed: Mondays (If Monday is a holiday, then Tuesday except February 13, 2018), Maintenance day (February 11),

The year-end and New Year Holidays (December 28 to January 4), February 12, 2018

Admission Fee: Adults / University students 500 (400) Yen, Admission free for High school students and younger

*Rates shown in parentheses are for groups of more than 14 persons.

Organizer: NTT InterCommunication Center [ICC]

Cooperation: commons, KAB Inc., Dumb Type Office Ltd., EASTERN SOUND FACTORY Co., Ltd.,

Synthax Japan Inc., Yamaha Corporation, Yamaha Music Japan Co., Ltd., Rittor Music, Inc., an Impress Group company.



INTERCOMMUNICATION CENTER

ICC2020←
ICC 20th Anniversary



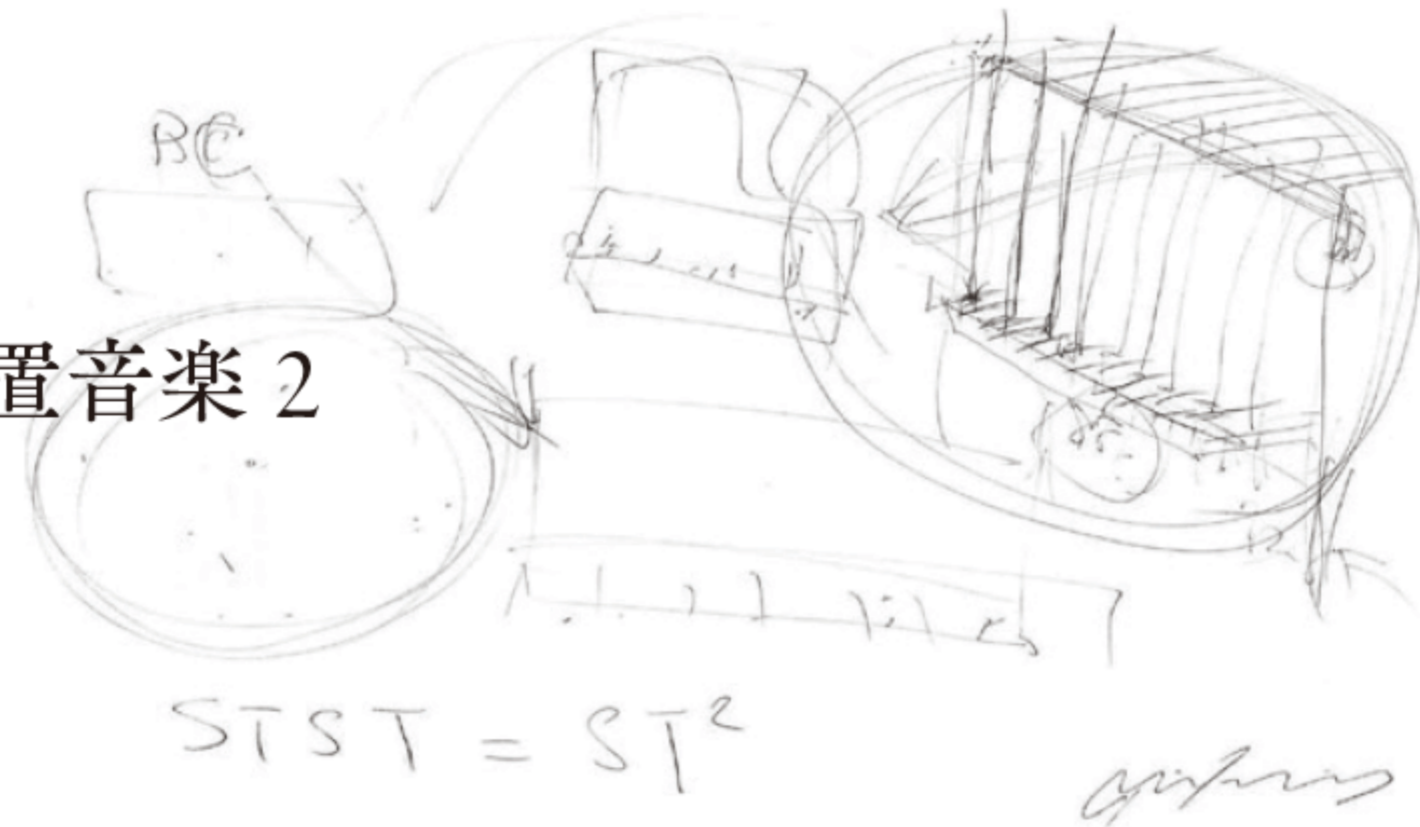
つなぐ、を、つよく。

IS YOUR TIME

SAKAMOTO Ryuichi with TAKATANI Shiro

Installation Music 2

坂本龍一 with 高谷史郎 | 設置音楽 2 IS YOUR TIME



坂本龍一は、近年、美術展や芸術祭への参加など、展示作品としてのインスタレーションの制作を行ない、これまでの自身の音楽の発表の場と異なる状況で発表を行なうことが増えています。また、音楽活動のみならず社会活動にも重点を置いた活動を精力的に行なっており、その活動は、音楽や社会、あるいは自然や根源的な生の思索へと向かっています。

坂本が2017年に発表した8年ぶりのアルバム『async』は、坂本にとっての新境地であるだけでなく、その音楽自体これまでにない新たな聴取体験をもたらすものでした。また、『async』はCDやレコードといったフォーマットで発表された後に、5.1チャンネルオーディオと3組のアーティストによる映像とのコラボレーションによって展示空間に設置され、「設置音楽」というフォーマットによって提示されました。

本展覧会は、そのタイトルが示すように、「坂本龍一 | 設置音楽展」(ワトリウム美術館)に続く二番目の「設置音楽」シリーズです。展示される《IS YOUR TIME》は、坂本とアーティスト・グループ、ダムタイプおよびソロ・アーティストとしても世界的に活躍する高谷史郎によって、今回の展覧会のために制作された新作インスタレーションです。

東日本大震災の津波で被災した宮城県名取市の高校のピアノに出会い、近代を象徴する楽器を自然が物に返したと感じた坂本が、そこから音楽の再生を試みながら、物理的な音を感知することだけでは音楽を感覚する場を作り上げます。

Creating and exhibiting installation works at art exhibitions and festivals in recent years, Sakamoto Ryuichi is increasingly showcasing his work in settings quite different from the format of his usual musical presentations. Considering that, in addition to his musical endeavors, he actively engages also in projects with a focus on social issues, the scope of Sakamoto's work at large has expanded toward general contemplation on aspects of music, society, nature, and primordial forms of life.

Released in 2017 as Sakamoto's first original album in eight years, "async" marked for the artist not only a venture onto new territory, but the music itself was part of an unprecedented, new kind of listening experience. After its release on CD and vinyl record, "async" was presented in the format of "installation music" set up in an exhibition space, combining 5.1 channel audio and imagery created by three collaborating artists.

As the title of this exhibition suggests, it is the second installment in the "Installation Music" series following "Ryuichi Sakamoto | async" at WATARI-UM, The Watari Museum of Contemporary Art. "IS YOUR TIME," the work on display this time, is a new installation created for this occasion by Sakamoto and Takatani Shiro, a member of the artist group Dumb Type and internationally operating solo artist. After encountering a piano in a high school in Natori (Miyagi Prefecture) that was devastated by the tsunami following the Great East Japan Earthquake in 2011, Sakamoto sensed that the forces of nature have retransformed this representative modern musical instrument into a mere object, and from there attempts to retrieve the music by creating occasions for sensing music also in other ways than perceiving physical sounds.

[関連イベント]

・アーティスト・トーク 坂本龍一 高谷史郎

2017年12月9日[土] 午後3時より | 入場無料

・コンサート

2017年12月10日[日] 午後7時より | 前売券:3,000円 / 当日券:3,500円

・設置音楽コンテスト、短編映画コンペティション 入賞作品公開

2017年12月9日[土]より | 入場無料

*イベントの内容について、詳しくはホームページなどで最新の情報をお知らせいたします。

東京オペラシティアートギャラリーとの相互割引

ICC受付にて、東京オペラシティアートギャラリーで同時期に開催の企画展「単色のリズム 韓国の抽象」「谷川俊太郎展」入場券をご呈示いただくと、本展に団体料金でご入場いただけます。また、東京オペラシティアートギャラリーへご入場の際に、本展入場券をご呈示いただいた場合も、団体料金でご入場いただけます(他の割引との併用不可。ご本人のみ1回限り有効)。



Photo by Zakkubalan

坂本龍一 | SAKAMOTO Ryuichi

1952年東京生まれ。1978年『千のナイフ』でソロデビュー。同年「イエロー・マジック・オーケストラ(YMO)」に参加。YMO散開後も音楽を中心に海外に拠点を移し多方面で活動。映画『戦場のメリークリスマス』の音楽で英国アカデミー賞を、映画『ラストエンペラー』の音楽ではアカデミー作曲賞、グラミー賞最優秀オリジナル映画音楽アルバム賞ほかを受賞。数々の映画音楽を手がけるなど、作曲家としても世界的な評価を得ている。常に革新的なサウンドを追求し、2007年に山口情報芸術センター[YCAM]で委嘱制作された高谷史郎との《LIFE-fluid, invisible, inaudible...》など、インスタレーションの発表を数多く行なっている。社会的な問題へも強い関心を持ち、森林保全と植林活動を行なう「more trees」、脱原発チャリティ・イベント「NO NUKES」、東日本大震災の被災地支援のための「こどもの音楽再生基金」「東北ユースオーケストラ」など、さまざまな活動を行っている。2014年には、札幌国際芸術祭(SIAF)のゲスト・ディレクターを務めた。2015年、映画『母と暮せば』と『レヴェナント:蘇えりし者』の音楽を制作。2017年、8年ぶりのオリジナル・アルバム『async』を発表。ワトリウム美術館で「設置音楽展」を行なった。



高谷史郎 | TAKATANI Shiro

1963年生まれ。1984年からアーティスト・グループ「ダムタイプ」の活動に参加。様々なメディアを用いたパフォーマンスやインスタレーション作品の制作に携わり、世界各地の劇場や美術館、アートセンター等で公演/展示を行う。1998年から「ダムタイプ」の活動と並行して個人の制作活動を開始。舞台作品《明るい部屋》(2008年初演、世界演劇祭/ドイツ)、《CHROMA》(2012年初演、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール)、《ST/LL》(2015年初演、ル・ヴォルカン国立舞台/フランス)を制作。マルセイユ・フェスティヴァル、國家兩廳院・國家戯劇院(台湾)での公演や、山口情報芸術センター[YCAM]、ZKM(ドイツ)、パリ科学産業会館、シャルジャ・ビエンナーレ(UAE)などでの作品展示、また、中谷英二子、野村萬斎、樂吉左衛門らとのコラボレーション作品も多数。坂本龍一による音楽の最新パフォーマンス《ST/LL》は、2018年2月24日、25日に東京・新国立劇場で上演予定。

Flyer front side

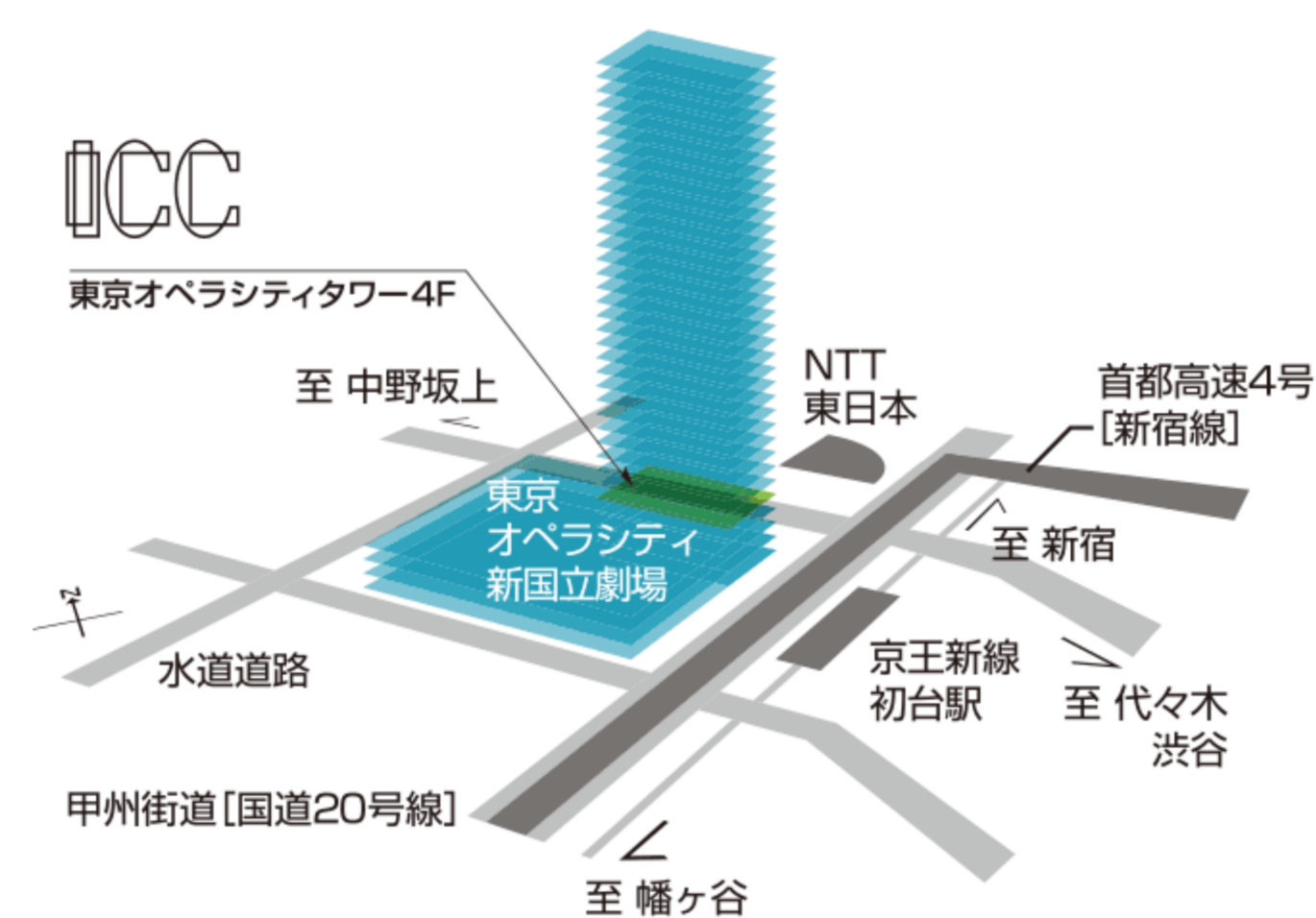
Photo: KIM Sungwon Data visualization: HIRAKAWA Norimichi

[同時開催の展示]

オープン・スペース 2017 未来の再創造

会期:2017年5月27日[土]ー2018年3月11日[日]

入場無料(企画展をご覧になる場合は、別途入場料が必要です。)



〒163-1404 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー 4階

京王新線初台駅東口から徒歩2分

お問い合わせ: ☎0120-144199

E-mail: query@ntticc.or.jp URL: http://www.ntticc.or.jp/

Address: Tokyo Opera City Tower 4F, 3-20-2 Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, 163-1404 Japan

Access: 2 minutes walk from Hatsudai Station East Exit on the Keio New Line

Inquiries: Toll-free Telephone 0120-144199 (Domestic only)

NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]は、日本の電話事業100周年(1990年)の記念事業として1997年4月19日、東京/西新宿・東京オペラシティタワーにオープンしたNTT東日本の運営する文化施設です。ICCは「コミュニケーション」というテーマを軸に科学技術と芸術文化の対話を促進し、豊かな未来社会を構想していきます。

